

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

# とえだ

広報

Soeda  
Public  
Relations



花見や登山のおともに  
英彦山サイダー



## ●添田町のご当地サイダー新発売

添田町ブランドの新商品、英彦山サイダーと英彦山サイダーゆずが販売開始されました。この2種類のサイダーは、添田町のおいしい水を使っており、どちらも1本200円。さっぱり爽やかな味わいが特徴で、おいしさはじける一品です。これからの季節、花見や登山のおともに、英彦山サイダーと英彦山サイダーゆずはいかがでしょう。

APR.2016

4

No.654

## 農林業・観光・定住 地方創生3本の矢

いま、日本は人口減少社会に突入し、添田町においても昨年10月の国勢調査の速報値では、人口1万人を割ってしまいました。添田町は、人口減少問題に立ち向かい、人口1万人を目標とし50年後も維持し続ける事に挑戦するため、昨年11月に「添田町人口ビジョン」と「添田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

今回の地方創生は、これまで取り組んできた豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまちを推進し、町の活性化に生かそうとするものです。添田町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、今取り組むべき目標として「安心して住み続けられる定住促進」、「地域資源を活かした農林業の振興」、「英彦山を核とした観光振興」の三本の矢を掲げました。

## 重点プロジェクト① 定住促進

平成27年度は、6世帯の若者定住住宅を整備しました。平成28年度も6戸を計画しています。

この他、空き家バンク事業の充実を図り、住宅取得の支援や移住総合支援窓口の設置などにも取り組んでいきたいと思っています。

子育て支援、児童福祉施策では、引き続き、子育て世代の継続的な支援に努めます。子どもの貧困も社会問題となつていきます。育児用品を再利用する仕組みづくりなど、国の施策とあわせた取り組みを図っていききたいと思います。

少子化対策として実施している



←4月から6世帯24人が添田町に定住することになった若者定住住宅

## 重点プロジェクト③ 歴史まちづくり

添田町歴史的風致維持向上計画の認定により、今後10年間は、この計画にそつて英彦山および本町地区等重点区域を中心に、歴史にふれあうまちづくりを推進し、町民相互の交流や都市との交流の場として、地域の活性化に取り組んでいきます。

また、英彦山の国史跡指定に向け、現在、作業を行っています。英彦山に点在する庭園についても、国の名勝指定に向けて調査を行います。

今年度は、英彦山神宮奉幣殿が再建400年を迎えることから、平成28年度中の史跡指定を目指し「歴史のまち」として、町内外に情報を発信するとともに、それらを活用したまちづくりを推進します。

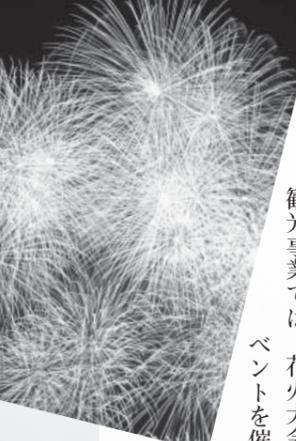
## 地域づくり・林業振興 観光施策

元気なまちづくり活動支援事業では、町民主導の地域づくりを後押しするためのアドバイザーを派遣するなど、地域づくりを支援していきます。

林業の振興については、森林を適切に管理するため、森林経営計画作成や施業の集約化を推進し、シカ被害防止柵および作業道設置を支援することで林業の生産活動の活性化に努めます。

観光事業では、花火大会など、四季折々にイベントを催し、入込客の増加を図り、町の活性化に繋がる施策を展開します。

←夏の風物詩。筑豊地区最大級の規模となったそえだ花火大会



平成28年度  
施政方針

# 人口を増やし、地域を活性化 安全、安心で楽しく暮らせるまちづくり

添田町では、第5次総合計画をさらに推進し、町の活性化に生かすため、昨年11月に添田町人口ビジョンと添田町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、取り組むべき目標として農林業・観光・定住の三本の矢を掲げました。地域は地域で守る。添田町は、人口減少問題に立ち向かい、人口1万人を目標とし50年後も維持し続ける事に挑戦する町づくりを進めます。

3月に行われた定例議会で、寺西明男町長が発表した本年度の施政方針の中から、町の目指すべき方向性と重要施策を抜粋してお伝えします。



出産育児奨励金給付事業は、定住施策へとつなげるため見直しを行います。

健康対策では、町民一人ひとりが健康でいきいきと暮らせるよう、それぞれの年代や状況に応じ、充実した保健事業を実施します。

また、定住を推進するため、光インターネットを利用し、添田町の様々な魅力を町内外に向けて積極的に発信します。

## 重点プロジェクト② 農業振興

就農支援事業については、今後も農家や地域の皆さんと連携を図り、就農および定住支援を推進します。平成27年度から新たに女性を対象とした農業体験事業を開始しました。添田町の農業ファンとして情報の発信源となつてもらえるよう、引き続き、事業推進に取り組めます。

また、生産基盤となる人材育成と施設整備を進め、食の安全と安定した生産を確保し、新規参入者への支援にも取り組み、雇用の創出につなげていきます。

リニューアルした道の駅歓遊舎ひこさんは、楽しんで買物できるよう、多彩な品揃えやイベントなど、魅力ある売り場づくりに取り組みます。その他の商工業振興については、本町で新たに創業を目指す起業家を支援するため、商工会と連携し、講習会の開催といった推進体制の構築を目指します。

地域交通施策については、町バスの運行や西鉄バス添田線の維持確保対策に努めています。新たにタクシー利用助成を実施します。



## 環境衛生・防災 空き家対策・住宅整備

し尿・ごみ処理は、田川地域8市町村での広域処理で協議が進んでいます。本町にとつても効率的な処理体制に向け、住民の皆さんへ随時、報告し、意見を伺いたいと思っています。

大規模災害に備え、自主防災組織の設立を積極的に支援します。また、全国的に危険な空き家等が増加していることから、法律に基づく添田町空家等対策協議会を設置し、空家等対策計画の策定や実施に関する協議を行います。

町営住宅は、平成29年度から朝日ヶ丘団地の解体・造成工事を行う計画です。そのため、平成28年度は、地盤調査業務および開発行為許可申請のための実施設計業務などを行います。



## 道路整備 橋りょうの安全管理

生活の基盤である道路は、道路が果たす役割や地域の表情を充分考慮し、町民の皆さんと協働による道路整備を行います。また、橋りょうは今後、急速に老朽化が進むと予想されるため、橋りょうの予防安全、老朽化対策に取り組めます。

## 学力向上・学校施設 子ども議会

学力向上については、学校長や教務主任で構成された学力向上推進・検証委員会を設置し、各学校の課題点を発見し、共通認識と連携を図りながら、対応していきます。

各学校施設は、安全で安心して学べる環境整備を目指し、統合も視野に入れながら最善の方法で検討していきます。

社会教育関係では、町の将来を担う子どもたち、町行政や議会の仕組みを学び、身近な問題から自分たちが暮らす地域や将来のまちづくりについて意見や提案をする場として子ども議会を開催することとしています。



↑添田中学校おやじ会などが行う英峰塾は、中学3年生の受験勉強をサポート

## 高齢者福祉・社会福祉 臨時福祉給付金

高齢者の活躍、活動の機会を推進していくとともに、医療や介護が必要となつても住み慣れた地域で継続して生活できる地域包括ケアシステムの構築を目指します。また、認知症に関する啓発や予防教室事業などの充実を図り、高齢者の豊かな経験と知識を活かした社会活動への参加を促進します。

今年度も年金生活者等支援臨時福祉給付金と臨時福祉給付金事業を予定しています。また、障がい者が快適に暮らせる社会づくりに努めます。



↑園児と交流するなど楽しく介護予防を行っている若返り教室

## 庁舎耐震 公共施設管理

築40年を経過した役場庁舎は、耐震診断の結果を踏まえ、町民サービス提供の場、被災者支援の拠点の場として、耐震化に着手します。また、公共施設等総合管理計画の策定および固定資産台帳整備業務を引き続き行っていきます。

一般会計・特別会計  
あわせて**予算総額**

# 84億7,754万円

スタート  
今年度のまちづくりが**開花**



**歳出** 今年度の主な事業としては、人口減少に歯止めをかけるため、昨年度に引き続き、若者世帯をはじめとした定住施策を推進していきます。また、移動手段を持たない住民の生活利便性の向上や移動による負担軽減を図るため、タクシーの利用料金の一部を助成します。

歴史と文化のまちづくりでは、行政や観光、地域の皆さんが一体となり、英彦山周辺のまちづくりを進めるための英彦山整備構想および基本計画を策定。さらに、英彦山に点在する庭園を保護するための調査を行い、国指定の名勝を目指します。

減少する歳入を有効活用するためにも事業計画をしっかりと立て、より効果的で効果的な行政運営を進めながら、人口減少問題に立ち向かい、住民の皆さんが安全で安心して暮らし暮らせるまちづくりを行います。

平成28年度の一般会計予算は、昨年度に比べて、3億5966万円減額（▲5.3%）の63億8696万円となりました。

**歳入** 歳入は、税金や使用料・手数料などによる自主財源が全体の24.0%、国や県に頼った依存財源が76.0%と本年度も財源の多くを依存財源が占め、厳しい財政運営状況に変わりありません。

町税収入では、個人住民税や固定資産税の減額、さらにたばこ税の減額などにより、昨年度と比べて338万円減額の6億1489万円と非常に厳しいものとなっています。

自主財源の乏しい本町では税収の確保は絶対的な課題です。そのため本年度も税を含めた自主財源を確実に確保できるよう悪質滞納者には、さらに厳しい姿勢で臨み、収納率の向上に努めます。

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまちの実現に向け、寺西町長が示した方針に基づいて編成された平成28年度予算が、3月の議会定例会で承認されました。一般会計と特別会計を合わせた予算総額は84億7,754万円。人口減少に立ち向かい、住民が安全・安心に楽しく暮らせる町にするため、限られた財源の中で最大の効果を図ります。

**28年度の主な事業**

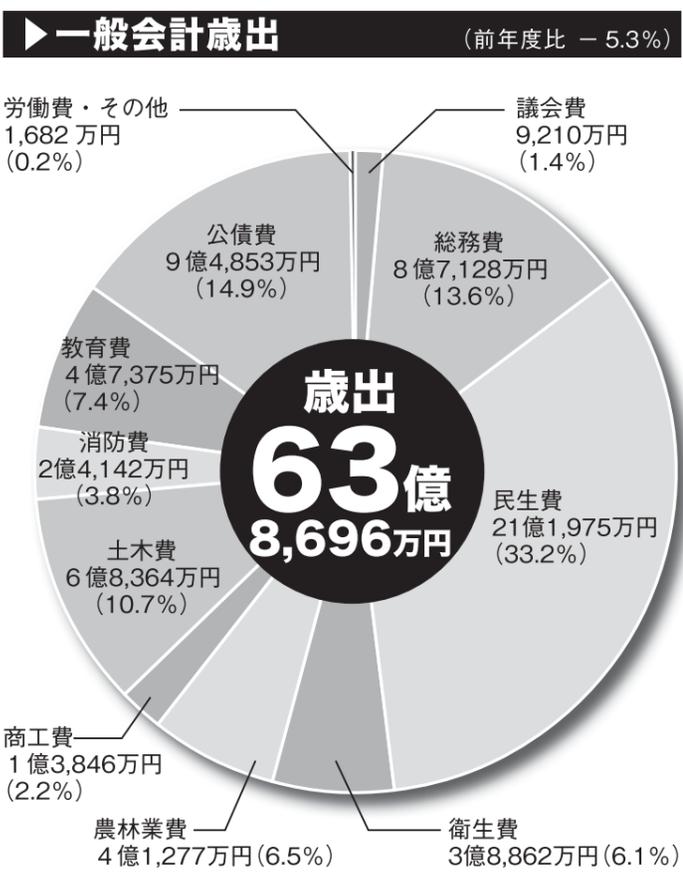
**定住促進住宅事業**  
(総務費) 1,858万円  
人口減少に歯止めをかけるため、町が整備した用地に若者世帯専用住宅(戸建て住宅)の建設や住宅支援を行う

**タクシー利用助成事業**  
(総務費) 402万円  
移動手段を持たない住民の公共交通を確保するため、タクシー利用料金の一部を助成し、負担軽減を図る

**歴史的風致推進事業**  
(教育費) 2,120万円  
英彦山周辺整備計画に伴う、まちづくり、観光、地域が一体となった構想と基本計画の策定業務などを行う

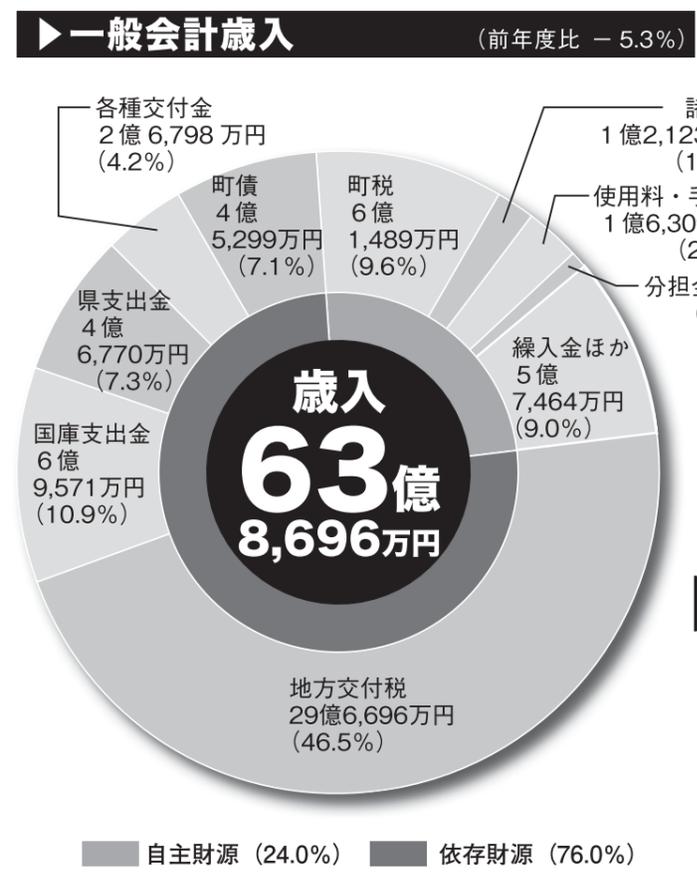
**シニア向け農業技術習得事業**  
(農林業費) 38万円  
シニア世代で本格的に野菜栽培を行いたい人に、実践型の基礎知識や技術を習得する機会を提供する

**教育指導主事配置事業**  
(教育費) 300万円  
そえだドリームプロジェクトの一環として、教育指導主事を配置し、学力向上に向けた質の高い教育施策を確立する



**▶特別会計** **20億9,058万円**  
前年度に比べ1,669万円の増額 (+ 0.8%)

特別会計名	当初予算額	前年度比
国民健康保険事業勘定	16億6,080万円	+ 0.8%
後期高齢者医療	1億7,606万円	- 5.9%
住宅新築資金等貸付事業	143万円	- 19.7%
バス事業	2,930万円	- 6.5%
水道事業	2億2,299万円	+ 8.5%



# 予算

## 平成28年度

**用語の説明**

【歳入】  
▼町税：町民税、固定資産税、たばこ税、軽自動車税など、皆さんに納めていただく税金。  
▼地方交付税：市町村の財力に応じて国から交付されるお金。  
▼国庫支出金：市町村が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金。  
▼県支出金：市町村が行う事業に対して県から交付されるお金で、通常は使途が特定されます。  
▼町債：町の借入金で償還が2年以上にわたるもの。

【歳出】  
▼議会費：議会運営の経費。  
▼総務費：行政全般の事務などに関する経費。  
▼民生費：障害者や高齢者に対する福祉や子育て支援などの経費。  
▼衛生費：環境保全や健康づくりの支援などの経費。  
▼農林業費：農業や林業の振興のための経費。  
▼商工費：商工業や観光の振興のための経費。  
▼土木費：道路や河川の整備、町営住宅建設などの経費。  
▼消防費：消防活動や災害対策などの経費。  
▼教育費：学校教育や生涯学習の充実、文化・スポーツなどの経費。  
▼公債費：過去の町債を返還するための経費。



あなたの空き家を有効活用しませんか

# 空き家バンクに登録しませんか

## ● 空き家バンク制度とは

「空き家を誰かに売りたい、貸したい人」や「空き家を買いたい、借りたい人」の情報登録を行い、相互に情報を共有することができる制度です。空き家とは、個人が居住を目的として建築し、現に居住していない町内に存在する建物とその敷地のことを言います。



## ● 空き家バンクへの登録

●物件を登録する  
空き家と土地の登記簿上の所有者で、登録する空き家の売買または貸借などを行うことができる人が登録できます

●利用の登録をする  
空き家に定住、または定期的に滞在して、添田町の自然環境、生活文化などに対する理解を深め、地域住民と協調して生活できる人。また、経済、教育、文化、芸術活動などを行うことで、地域の活性化に寄与できる人が登録できます

空き家は、防犯、防災、景観など、さまざまな面で問題となっています。町内に住まなくなった家をお持ちの皆さん、空き家を有効活用してみませんか。気軽に相談してください。

問 まちづくり課(☎82-5965)

■町では、今後も若者定住住宅を整備する予定です。詳しくは、役場まちづくり課(☎82-5965)までお願いします。

豊かな自然の中で子育て  
若者定住住宅お宅訪問

# ようこそ添田町へ

今回、若者定住住宅に入居した6家族の皆さん。ずっと思い描いていた“家族の夢”が添田町で“カタチ”になりました。自然豊かな添田町で地域の皆さんと活動しながら生活を始めた皆さんにお話を聞きました。



飯塚市から入居した  
**堺保夫さん・紀子さん家族**

新築一戸建てということ、自然豊かな環境が魅力的で、子育てしやすいと思い応募を決めました。自治会に入ること、地域に見守っていただけるという安心感がすごいです。

田川市から入居した  
**高木世偉さん・渚さん家族**

実家は大任町ですが、添田町は幼少期に油木ダムへ出かけたり、英彦山に登山したり、思い出のある場所です。完成した家を見て「これからここで暮らしていくんだな」と、実感がわきました。



## 自然に囲まれて 安心安全の子育て

6戸の住宅が完成し、3月12日と13日の両日には、見学会が開催され、入居者や一般の家族連れなどが足を運びました。外観や室内を見学した入居者の皆さんは「正直どんな家が建つか不安もあったが、外装や内装も選ぶことができ、すごく立派な家が完成し満足です」など感想を語っていました。桜の花も咲き始めた3月27日、いよいよ6家族のみんなの夢がかなう入居の日です。この日は入居者歓迎セレモニーが行われました。式典で寺西町長は「添田町は子育て世帯を応援します。自然に恵まれた環境で子育てし

## 家族の夢がかなう 幸せな風景を描く町

今、日本全体が人口減少社会に突入し、町としても人口減少対策を最重要課題としています。今回の若者定住住宅もそのひとつです。町では、住民が、安心して生活でき、子どもを産み育てやすい環境。そして、いくつになっても住み慣れた場所です生活できるような施策を実施していきます。豊かな自然の中で、家族みんなの幸せな風景を添田町で描いてみませんか。



3月27日、春らしい暖かい気候の中行われたセレモニーには、地元の旧三崎行政区や上中元寺子ども育成会の皆さんも出席し、入居者を歓迎しました

## 添田町若者定住住宅

# 添田町で描く 家族みんなの しあわせな風景

町は、人口減少に歯止めをかけ、若者を町内に定住させようと、子育て世代の家族を対象とした一戸建て賃貸住宅を建設しました。この4月から6世帯23人が、添田町で家族みんなの夢がかなった新しい生活をスタートさせました。

## 若者を町に呼び込み 長く住んでもらう

若い世代の定住促進に向け、町では、家賃を抑えて貸し出す新築一戸建て住宅を旧三崎に6戸建設しました。各戸の敷地はおよそ300㎡で木造平屋と二階建ての6種類の間取りから、家族構成やライフスタイルに合わせて入居者が選びました。家賃は子育て世帯の経済的負担を少しでも減らすため、月々3万5千円となっています。

平成27年7月に小学生以下の子どもを持つ、夫婦がともに40歳以下の世帯などを対象に、25年以上住むことや行政区に加入して地域活動に積極的に参加することなどを条件にチラシやインターネットで募集。反響も大きく、数多くの申し込みや問い合わせがありました。書類審査や面接などで、町内外の6世帯23人の入居が決定しました。

# 桜の名所、添田公園で 戦国絵巻を再現

● 添田公園桜まつり×第26回岩石城まつり ●



↑岩石山(標高454m)は、かつて山伏たちの修行場として栄えました。保元3(1158)年、平清盛の命により、山頂に岩石城が築かれ、天正15(1587)年に豊臣秀吉に攻め落とされました。また近年、岩石山周辺は剣豪・佐々木小次郎の出生の地ではないかという説もあります

←大将役を務めたグエンさんを先頭に男女30人が町体育館から岩石城までを練り歩きました



→3月26日から4月3日まで添田公園では、添田公園桜まつりが開催。夜は桜がライトアップされ、多くの見物客で賑わいました

岩石城まつり  
初めての春開催

ソメイヨシノをはじめ、約千六百本の桜が見ごろを迎えた3月26日から4月3日にかけて、添田公園桜まつりが開催されました。期間中、公園内は、花見を楽しむ家族連れなどで賑わいました。また、あたりが薄暗くなる夕方から夜にかけて公園内の桜がライトアップされ、薄いピンク色の花びらは、光に照らされ幻想的な雰囲気を見せていました。

に拍手を送られ、岩石城に到着すると、古式にのっとり出陣式が行われ、大将役を務めたベトナム出身のグエン・デイン・ニヤットさんの号令に合わせ、全員で勝ちどきを上げました。添田中学校などで英語を教えているイギリス出身のアダム・フィリップさんは「桜を見ながら、日本の鎧を着られて、楽しかった」と笑顔を見せていました。終了後、参加者は記念撮影をしたり、公園内を散策したりと、添田町の春を満喫していました。



→いざ、出陣。声高らかに「エイ、エイ、オー」と勝ちどきをあげる参加者の皆さん

↓岩石城では、厳肅な雰囲気の中、古式にのっとり、戦での必勝を願う三献の儀が行われました



## 岩石山・添田公園・添田本町 ガイドブック「岩石者」 ガイドマップ「岩石山 山のぼりマップ」

町では、歴史や自然に恵まれた岩石山と添田公園、添田本町地区を紹介するガイドブック「岩石者」とガイドマップ「岩石山 山のぼりマップ」を作成しました。ガイドブックとマップは、役場などの公共施設で無料にて配布しています。このガイドを片手に、町を散策し、新たな魅力を見つけてみませんか。



## 添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金

# 平成27年度 元気なまちづくり 交付決定団体紹介

平成27年度は、6つの団体が交付決定を受け、町を元気にする事業を実施しました。その6団体の事業内容を紹介します。

紹介します  
まちを元気にするたくさんのアイデア

## 油木ダム憩いの森整備事業

油木ダムを美しくする会

油木ダム周辺の環境整備や緑の森づくり、公園美化などダムを中心に自然環境の保護活動を実施しました。平成27年度は、ダム周辺にモミジなどの植樹を行い、英彦山へ向かう観光客に憩いの場を提供。英彦山の入口である津野地区の活性化を図りました。



## 添田町活性化事業

添田町活性化推進協議会

8月8日に英彦山野営場で射的や輪投げなどの子ども向けのイベントや地元園児によるステージイベントなどを行う英彦山夏まつりを開催。また、11月1日の上中元寺の薬師堂秋季大祭終了後、地元特産品の販売や婦人会などによる踊りが披露された上中元寺ふるさと祭りを開催しました。



## 2016油木ダム桜ウォーキング大会

津野地域活性化実行委員会

過疎化・高齢化が進む津野地域全体で、地域で結成した実行委員会が主体となり、ダム周辺でウォーキングや物産販売などイベントを実施。津野の良さをPRし、多くの人が津野へ来てもらえるよう、地域活性化を図りました。



地域の課題解決や地域資源を活用したまちづくり活動を行う団体に対して、上限30万円を交付し、支援する添田町元気なまちづくり活動支援事業交付金。平成24年度に始まり、町内各地で、皆さんのアイデアによる町を元気にするまちづくり活動が行われてきました。今回は、平成27年度に交付決定を受けて、事業を行った6つの団体の事業内容を紹介します。

## 中元寺夏祭り

中元寺夏祭り実行委員会



7月28日、中元寺小学校グラウンドで地域の世代間交流などを目的に中元寺夏祭りを開催しました。カレーやかき氷といった

露店が並ぶ会場では、コマまわしや水鉄砲などの昔遊びをしたり、井桁を囲んで、添田音頭や炭坑節を踊ったりと世代を超えて、楽しく交流しました。

## 花いっぱい運動

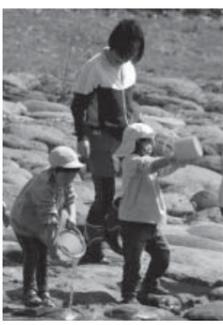
地域緑化委員会

そえだドームから五嶋歯科までの歩道脇にツツジやマリーゴールドなど四季折々の花を植栽しました。そえだドームやサン・スポーツランドの利用者、買い物客、散策する人など多くの皆さんが1年を通じて、季節の花を楽しめるような活動を実施しました。



## 彦山川上流の自然を取り戻す為の清掃活動及び放流イベント

添田町彦山川の自然を守る会



きれいな彦山川を取り戻すため、歓遊舎ひこさん前の河川敷の清掃を定期的に行いました。また、観光客や家族連れなど多くの人が、町を訪れるきっかけになるよう、3月15日に、地域の園児も参加して、彦山川河川敷でアユとヤマメの稚魚を放流しました。

有害鳥獣対策に

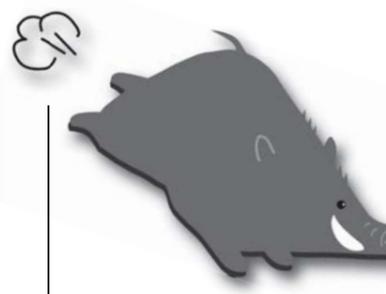
使用済のり網の販売と有害鳥獣駆除実施のお知らせ

【使用済のり網販売】

- 受付開始日 4月11日(日)～(先着順)
  - 受け渡し日 4月18日(日)以降の平日9時～17時
  - 受け渡し場所 添田町役場北側公用車駐車場
  - 販売枚数 500枚(1.8m×18m/1枚)
  - 価格 3,500円/10枚(10枚単位で販売)
- ※販売は随時受け付けていますが、無くなり次第終了となります。購入を希望する人は、事前に役場に問い合わせてください。

【有害鳥獣駆除を実施します】

- 駆除期間 5月1日(日)～平成29年3月12日(日)(予定)
- 近年、登山者や山菜取り中の人への誤射による殺傷事故が全国的に増加しています。銃器による駆除を行う従事者は、十分に安全確認のうえ駆除を行ってください。



☎ 役場地域産業推進課農業振興係 (☎ 82-1237)

愛犬に1年に1回大切な予防注射

愛犬の登録と、1年に1回の予防注射を忘れずに



飼い犬には、狂犬病予防法で「登録」と「予防注射」が義務づけられています。犬を複数頭飼う場合は、1頭ごとに登録が必要です。飼い主が変わったときや引っ越した場合、犬が死亡したときは、届出が必要となります。また、狂犬病の予防注射は、毎年1回受け、町から注射済票の交付を受けなければなりません。飼い犬が登録済みの場合は、通知書が届きます。

【畜犬登録と狂犬病予防注射】

- とき 4月14日(日) 9時30分～15時15分  
15日(月) 9時30分～14時30分
- ※受けられない場合は動物病院で接種してください。
- ところ 町内地区公民館や集会所など25会場
- ※対象は生後91日以上の子犬です。各会場で時間が決まっていますので、詳しくは、役場保健福祉環境課環境保全係まで問い合わせください。

登録と注射	注射料金	登録手数料	済票手数料	合計
初めて登録	2,600円	3,000円	550円	6,150円
登録済み	2,600円	0円	550円	3,150円

☎ 役場保健福祉環境課環境保全係 (☎ 82-1232)

年金生活者等支援臨時福祉給付金

☎ 役場保健福祉環境課子育て・障がい者・福祉係 (☎ 82-1232)

低所得の高齢者向け給付金の申請受け付けを開始します

「一億総活躍社会」の実現に向けて、賃金の引き上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者への支援として、年金生活者等支援臨時福祉給付金が給付されます。

- 給付対象者 平成27年度簡素な給付措置（臨時福祉給付金）対象者のうち、平成28年度中に65歳以上となる人

※平成27年度簡素な給付措置（臨時福祉給付金）の対象者とは、①平成27年1月1日時点で添田町住民基本台帳に記録されている人 ②平成27年度の住民税が課税されていない人（課税されている人に扶養されている人、生活保護受給者を除く）です。



- 給付額 1人3万円
- 申請期間 4月25日(日)～7月29日(日)の平日 8時30分～17時15分 (郵送は当日消印有効)
- 給付方法 対象者には4月中旬以降に申請書と返信用封筒を簡易書留で送付します。必要事項を記入し、添付書類と共に郵送または役場窓口へ提出してください
- 提出書類 ①申請書 ②本人確認書類（扶養親族分も） ③新規の口座振込を希望の人は振込口座が確認できる書類（通帳やキャッシュカードの写し）
- 給付時期 申請受け付け後、事務手続き終了次第個別に通知します



割引制度がお得です

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966) 直方年金事務所 (☎ 0949-22-0891)

国民年金保険料額が16,260円に変わります

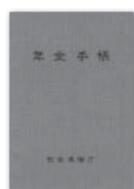
平成28年度の国民年金保険料額は、月額16,260円です。支払い方法によってお得な割引制度がありますので、ご利用ください。

①口座振替 早割

当月保険料を当月末に引き落とす早割制度（納付期限よりも1か月早く振替する制度）を利用すると毎月50円(年間600円)割引となります。

②前納割引（保険料の前払い）

現金で保険料を1年度分前納した場合、毎月払いと比べて3,460円の割引、6か月分前納で790円の割引になります。また、口座振替制度を利用すると、2年度分前納で15,690円、1年度分前納で4,090円、6か月分



前納で1,110円の割引となり、大変お得です。

●学生納付特例制度

20歳以上の人は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。しかし、学生は一般的に所得が少ないため、本人の所得が一定額(118万円+ [扶養親族等の数×38万円])以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例」があります。

平成27年度に保険料を猶予されている人で、平成28年度も引き続き在学予定の人は、3月下旬に送付されたハガキで手続きができます。

なお、平成28年度は学生特例制度を利用せず、保険料の納付を希望する場合は、納付書を送付しますので、直方年金事務所にご連絡ください。

住民税課税世帯の皆さん

入院時の食事負担額が4月から変わります

4月から、医療保険制度が改正され、住民税課税世帯の入院時の食事代が、1食あたり260円から



360円に引き上げられます。また、平成30年4月からは、460円に引き上げられます。なお、指定難病患者や小児慢性特定疾病患者、平成28年4月時点で1年を超えて精神病院に入院している人は260円に据え置かれます。

【負担額一覧】

	平成28年 3月まで	平成28年 4月～	平成30年 4月～
	負担額（1食あたり）		
・住民税課税世帯	260円	360円	460円
・住民税非課税世帯(オ) ・低所得者Ⅱ	210円	据え置き	据え置き
・低所得者Ⅰ	100円	据え置き	据え置き

☎ 役場住民課保険年金係 (☎ 82-5966)

75歳以上の世帯の皆さん

タクシー料金の一部を助成します

- 対象 添田町に住民票があり、生活している75歳以上の単身世帯、または75歳以上のみの世帯に属する人で、運転免許を持っていない人



※次の場合は利用できません。①町民税など滞納がある②申請時に入院または介護施設などに入所している

- 利用区間 町内での乗降に限ります
- 助成額 1回の乗車につき300円、月4枚 年間最大48枚(平成28年度は年間最大44枚)
- 申請方法 申請書に必要事項を記入し役場まちづくり課に提出
- 必要なもの 印鑑、本人確認ができるもの

☎ 役場まちづくり課施策推進係 (☎ 82-5965)



### 交通安全や防犯を表現した作品です 庁舎東側の壁画が変わりました

3月21日から、役場庁舎東側に設置している壁画が、中元寺小学校3年の福田優聖くんと落合小学校6年生の中村元花さんの作品に掛け変わりました。シートベルトの大切さを表現した福田くんの作品と防犯ブザーの携帯を訴える中村さんの作品。当分の間、展示していますので、役場にお越しの際は、ぜひご覧ください。



↑交通安全や防犯を色鮮やかに表現したふたりの作品

### 防衛大入校の藤瀬さん、決意を語る 防衛大入校者が表敬訪問

平成28年度に防衛大学校入校予定の藤瀬輝さん(旧三崎)が3月18日、寺西町長に入校報告するため、役場を訪れました。寺西町長から「入校後も大変だと思うがしっかり頑張ってください」と激励された藤瀬さんは「勉強はもちろん、心身ともに鍛え、将来は国防に携わっていきたいです」と力強く抱負を語っていました。



↑表敬訪問に訪れた、鞍手高校3年藤瀬輝さん(旧三崎)

↓みんなで協力して、添田町の宝を守るため、次々と現れる問題をクリアしていきま



### 謎を解いて添田の宝を守り抜け 謎解き宝探しinそえだ

春の陽気となった3月5日、オークホール周辺で、町内の小学生を対象に「謎解き宝探しinそえだ」が行われました。NPO法人ハッピーライドの皆さんと英彦学園の皆さん扮する海賊団から宝物を守るため、5~6人でチームとなり、厳しい修行へと向かった子どもたち。海賊を相手にボールとラケットで体力勝負をしたり、車椅子で坂道を上ったりして修行を重ね、宝の地図やてんぐのお面などのヒントを得てチームで協力して謎を解き、添田町の宝「たっだしいころ」を守り抜くことに成功しました。修行と謎解きをとおして子どもたちは、仲間と共に励まし合い、助け合う優しい心を学びました。

### 想像力×パントマイムで世界が広がる 添田中学校芸術鑑賞「パントマイム」

3月8日、添田中学校の芸術鑑賞として、オークホールで、カンジヤマ・マイムによる公演が行われました。喋りながらのパントマイムや、体操を取り入れたパントマイムに、会場は終始笑いに包まれていました。生徒たちは、自分の感じたことを表現できることへの喜びや、好きなことを継続してやりきる心を学びました。



↑銅像になりきるパントマイムに生徒も挑戦しました

### 地域に根差した絆づくりが100回目 添田東ふれあいサロン

ふれあいサロン(高瀬知恵子代表)が2月26日に添田東公民館で行われました。地域の高齢者の健康づくりや絆を深めるために始めたサロンもついにこの日です。1回目から参加している鶴原幸江さん(添田東)は「皆さんと交流できて楽しいです。毎回、参加して活力をもらっています」と元気に語っていました。



↑はじめて8年目、通算100回目のふれあいサロン

### 決意新たに、地域で就農を目指す 添田町就農実践塾第2期生卒業式

3月23日、農業の担い手確保や育成を図る目的で平成24年度に開講した添田町就農実践塾第2期生、岩本信太郎さんと二宮健史さんの2人が、3年間の研修を終えて卒業式を迎えました。式には、町や農協などで組織する添田町就農支援推進協議会(上田定会長)や受入農家の皆さん、実践塾の先輩や後輩などが出席。上田会長から激励の言葉が送られ、卒業証書が手渡されました。トルコギキョウなどの花を栽培する岩本さんは「自分のため、町のため、そして家族のために頑張る」と決意の言葉を述べ、キャベツなどの野菜を育てる二宮さんは「野菜を中心に栽培品目や出荷先を増やしていきたい」と抱負を語りました。若い農業者のひとりとして、決意を新たに就農への一歩を踏み出しました。

↓農業の知識や技術を学んだ2人は、町の農業の担い手として活躍が期待されます



### いざという大規模な火災に備えて 添田町消防団春季消防訓練

春の火災予防期間中の3月6日、添田町消防団(田中久美男団長)の春季消防訓練が、添田公園や岩石城周辺で行われました。今回は、水利の無い場所での林野火災を想定。消防団員たちは2か所で確保した水利から、全分団が協力してホースを延長し、機械操作、放水と本番さながらの行動で消火活動を行っていました。



↑連携を固めながら消火活動にあたる消防団員たち

### きれいな彦山川を願い、稚魚を放流 添田町彦山川の自然を守る会

きれいな彦山川にするため清掃活動などを行っている添田町彦山川の自然を守る会(米木正一会長)が3月16日、道の駅歓遊舎ひこさん前の彦山川河川敷でアユとヤマメの稚魚を放流しました。今回は元気なまちづくり活動支援事業交付金によるもので、くるみ保育園児も参加し、小さなバケツを手に、アユやヤマメ約1万2千匹を放流しました。



↑バケツからそっと稚魚を放す園児

↓それぞれの想いを込めた桜。毎年、春には満開の花を咲かせること

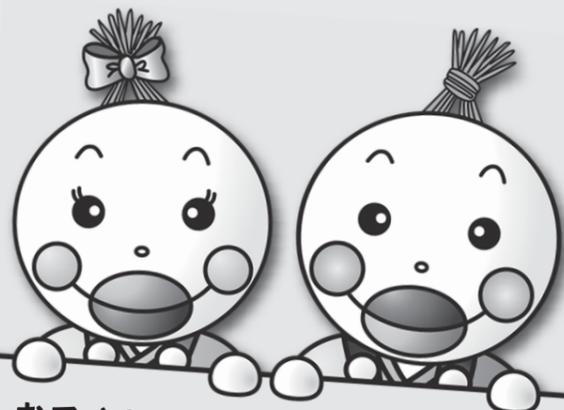
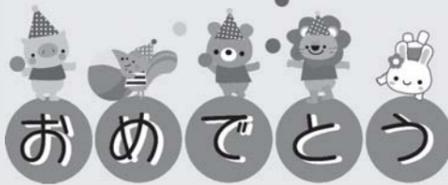


### それぞれの想いを桜の木に込めて 「油木ダムを美しくする会」桜の木オーナー植樹祭

油木ダム周辺で3月13日、油木ダムを美しくする会(金子鳴身会長)による桜の木オーナー植樹祭が行われました。3年目となる今回は、県内外から訪れた20組が河津桜を植樹し、傘寿記念や新築記念などそれぞれの想いと名前と一緒に刻まれた木札を桜に取り付けました。作業後は、津野公民館で交流会が行われ、津野の美味しいお米や山菜などを使った手作り弁当やシシ汁などが振る舞われました。また、3月11日には津野婦人学級の皆さんが、ダム周辺など地域の清掃活動を行いました。

↑津野婦人学級の皆さんがダム周辺を清掃

4月生まれ  
HAPPY  
BIRTHDAY



## お子さんの写真を掲載しませんか

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真とメッセージを添えて、役場まちづくり課（☎88-8444）に持参またはEメール（koudojyouhou@town.soeda.fukuoka.jp）で送信ください。5月生まれの締め切りは4月15日㊦です。



かの  
花村 果乃ちゃん  
4月27日生 ①・伊原



畠田 くるみちゃん  
4月1日生 ②・豊川

果乃ちゃん1歳のお誕生日おめでとう！これからも海斗にいとと仲良く元気に育ってね♪

お誕生日おめでとう！お兄ちゃんお姉ちゃんと仲良く、これからも元気いっぱい大きくなってね。



ありさ  
大森 有紗ちゃん  
4月20日生 ②・峰地

パパとママの宝物のあーちゃん。毎日可愛い笑顔に癒されています。これからもお兄ちゃん達と仲良く、元気いっぱい育ってね。



たける  
西本 健琉ちゃん  
4月30日生 ①・新城

にいが大好きなタケルだよ。にいと一緒保育園に行けるから嬉しいな。これからもたくさん遊ぼうね。



ゆうし  
西山 侑志ちゃん  
4月1日生 ①・添田中

侑ちゃんお誕生日おめでとう。病気に元気にすくすく成長してくれました。これからも可愛い笑顔を見せてね。パパ・ママより



## 恩師に見守られ、思い出す22年前のあの日

津野小学校卒業生がタイムカプセル開封

平成6年3月の津野小学校卒業生が当時、校庭に埋めたタイムカプセルを3月26日、22年ぶりに開封しました。同級生9人のうち、現在はオーストラリアで暮らす林和歌菜さんら4人が恩師に見守られながら、タイムカプセルを掘り起しました。この日、偶然にも同級生のひとり、金子朋子さん(中津野)と妹の穂那美さんにテレビ局の取材がっており、開封の様子も撮影。FBS福岡放送、4月15日からの新番組(毎週金曜日19時)で放送予定です。



↑恩師やテレビカメラの前で開封された金子朋子さんのタイムカプセルに書かれてた夢は偶然にもテレビ局のカメラマンでした

## 多くのことを学び、思い出と別れに涙

町内小学校で卒業式

町内各小学校の卒業式が3月18日に行われ、思い出の詰まった校舎に別れを告げました。津野小学校では、ただ一人の卒業生、寺西自然くんが下級生や家族、地域の皆さんが見守る中、卒業証書を受け取りました。「小学校生活で、一生懸命取り組むこと、津野の良さ、感謝のこころを学びました。お父さん、お母さん、ありがとうございます」と込み上げてきた涙をぬぐう寺西くん。式典後は、先生や下級生に見送られ新たな一歩を踏み出しました。



↑下級生や先生らに見守られ、卒業証書を受け取る寺西くん

## 子どもからお年寄りまで、餅つきで交流

町三行政区もちつき大会

前日までの雨が上がり快晴となった2月21日、町三行政区(矢野喜喜区長)の地域の皆さんやグループホームみかんの木の入所者など95人が参加して餅つき大会が行われました。会場の町三公民館には、子どもからお年寄りまで多くの人が集まり、威勢のいい掛け声に合わせて、元気よく、約30キロの餅をつき上げました。矢野区長は「地域の皆さんや施設の高齢者など、子どもからお年寄りまで参加して、楽しい餅つきでした」と笑顔で語っていました。



↑多くの人が参加し、とても楽しい餅つき大会となりました

# 文芸歳時記



### 【俳句 添田福寿句会】

草の芽の確かなときを生きてをり 渡辺 恵美  
 青空のはかなく消えて風花す 安藤はじめ  
 春めきてスポーツ電話受けにけり 熊谷トシエ  
 生くることときめきにあり青き踏む 鶴原 幸江

### 【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

藪椿素朴で通す心意気 諫山 静香  
 千金の光あつめし梅の花 安永 藻香  
 あるがまま生きる外なし春立てり 石谷タツ子  
 春という形おこす一の雷 牧野八寿子  
 苦も楽も越えりや懐かし水仙花 松尾 揚子  
 寄り添いて風の岬の野水仙 森田 竹子  
 立春の髪梳く白い日の白い 大池みどり

### 【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

春の気に押されて参る彼岸会に 大塚 成子  
 誰彼となく喜びくるる 五十嵐田鶴  
 ピンク濃き花桃に寄り真白なる 利休梅咲く狭庭の春よ

我が身長越えし頃より男の孫の

寡黙になりゆく成長ならむ 平井 朝子

気持ちよく晴れた冬日に啼く鳥は

仲間を呼ぶや一段と冴ゆ 木村 寛子

曙の空を仰げば月と星

向き合ひ光り輝く神秘 荒巻ミサ子

### 【川柳 添田番傘川柳会】

平和乞い甘茶の衣釈迦に着せ 濱田イサオ  
 三浪もサラバの春の小豆飯 奥田ミヨ子  
 数々の悲願に触れた百度石 伊川トシエ  
 雛祭り主役無欲に眠るだけ 中村ヤス子  
 父と子の心が通うコップ酒 諫山 速人

### 【俳句 投稿】

父と子の声響きあふ春の山 立花 克明  
 蓬菜を飾りてしのぶ芭蕉の句 島津余史衣  
 隠沼の風吹き上ぐる梅の丘 柴田 一世  
 佐助の花の一日の下陰に 天野ユキ海  
 少女等のおくれ毛揺らす木の芽風 斎藤智寿子

●俳句・川柳を募集します  
 5月号に掲載する俳句・川柳を募集します。4月15日㊦までに役場まちづくり課に連絡してください。  
 役場まちづくり課広報係 ☎88-8444

試験・募集

福岡県警察官採用試験

- ▼1次試験日 5月8日(日)
▼ところ 九州産業大学(福岡市)
【警察官A(大卒程度)】男女、武道指導
▼受験資格 昭和61年4月2日以降生まれで、大学(短大除く)卒業または平成29年3月までに卒業見込みの人
▼採用予定数 男性102人、女性1125人、武道指導13人
※武道指導は、柔・剣道の資格条件あり。
【警察官B(高卒程度)】男性
▼受験資格 昭和61年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
※大学(短大除く)卒業または平成29年3月までに卒業見込みの人、申し込み日現在高校在学中の人は受験できません。
▼採用予定数 22人
【警察官C】経済、語学(英語、北京語、韓国・朝鮮語)、情報



●添田町役場機構の変更
4月から役場組織を一部変更しました



役場機構の一部見直しを行い、4月から情報広報課を廃止し、情報推進係は「総務課」、広報係は「まちづくり課」に変更しました。詳しくは広報そえだ5月号でお知らせします。

☎ 役場総務課 (82-1232)

工学

- ▼受験資格 ①昭和61年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②平成7年4月2日以降に生まれた人で、大学(短大除く)の卒業業者または平成29年3月までに卒業見込みの人
▼採用予定数 1~3人
▼申込期限 4月20日(木)
☎ 田川警察署 (42-0110)

裁判所職員採用試験

- ▼試験日 6月5日(日)
▼試験区分 ▼裁判所職員採用総合職試験(①裁判所事務官 院卒者区分②裁判所事務官大卒程度区分③家庭裁判所調査官補院卒者区分④家庭裁判所調査官補大卒程度区分)
▼裁判所職員採用一般職試験(⑤裁判所事務官大卒程度区分)
▼申込期限 ▼インターネット 4月13日(水)
☎ ①②⑤福岡地方裁判所事務局 (092-781-3141)
③④福岡家庭裁判所事務局 (092-510-0403)

草刈作業員募集

- ▼業務内容 町道敷地及び町有地の草刈り・片付け作業など
▼応募資格 ①平成28年4月1日現在、18~65歳までの人②草刈り機使用による草刈り経験がある人③要普通自動車免許(A・T車限定不可)
▼募集人数 2人
▼勤務時間 月12日間 8時30分~16時45分
▼報酬 月額13万8千円(雇用保険のみ)
▼任期 平成28年6月1日(金)~11月30日(木)
▼申込期限 4月28日(日)
▼必要書類 履歴書、健康診断書
※応募方法など、詳しくは問い合わせください。

農産加工セミナー
受講者を募集します

- 野菜や果物の加工にチャレンジしてみませんか。加工方法や食品衛生について専門の講師が指導します。皆さんの参加をお待ちしています。
▼とき 4月28日(第1回目)
▼ところ オークホール
▼参加費 無料
▼申込期限 4月22日(金)
※全12回開催。2回目以降の日程は、受講者に通知します。
☎ 役場地域産業推進課農業振興係 (82-1237)

筑豊市民大学受講生募集

- ▼開講式 5月28日(土)
▼開講期間 5月~平成29年3月(毎月1回)
▼ところ 福岡県立大学(田川市)
▼受講料 年間1万円(学生は2千円)
▼募集期限 5月6日(金)
※分科会内容や申し込み方法など詳しくは問い合わせください。
☎ 筑豊市民大学専用電話 岩佐 (080-5210-0245)

【急募】パート従業員募集
特別養護老人ホームそえだ

- 調理員のパート従業員を募集しています。
▼募集人数 1人/時給850円
▼勤務時間 月15日程度、1日5時間程度(早出・遅出あり)
▼業務内容 入所者の調理全般
※詳しくは問い合わせください。
☎ 特別養護老人ホームそえだ (82-4112)

教育・子育て

添田町佐藤知也給付型奨学金の申請受付中

添田町出身の佐藤知也氏から

添田町育英資金の貸与申請受付中

添田町育英資金の申し込みを受け付けます。
▼申請資格 ▼学業優秀で高等学校以上の学校に進学する学生▼町内に2年以上在住する

護法による生活保護制度を受け、養育者については奨励金額を生活保護法による収入認定の限度額に変更します。
【出産奨励金】
▼支給条件 次のすべての要件を満たす人①子の出生日において1年以上本町に居住している②子の出生日前後継続して1年以上居住している③出生児を養育している④配偶者を含め、町税等の滞納(前年度以前分)がない
▼奨励金額 出生児1・2子目 5万円、3子目 20万円、4子目以上 50万円
※生活保護受給者は出生児1人

につき一律5万円。
※出産奨励金の支払いについては随時決定し通知書にてお知らせします。
【育児奨励金】
▼支給条件 次のすべての要件を満たす人①3子以上を出産し養育している②本町居住者となつて継続し1年を経過している
▼奨励金額 第3子以上1子につき月額1万円
※生活保護受給者は対象児童1人につき一律月額8千円。
※詳しくは問い合わせください。
☎ 役場保健福祉環境課 (82-1232)

教育のひろば

平成28年度がいよいよスタートしました。小中学校では、3月に、135名の児童生徒が母校を巣立っていきました。新たな世界での活躍を祈るばかりです。

さて、2月に、「ネット被害から子どもを守る」と題し町教育講演会が開催されました。便利なはずのインターネットも使い方によっては、思わぬ事態や生命に関わる問題に発展するなど、恐ろしい現実社会の話でした。スマホ等の取り扱いは、家庭の判断に任せざるを得ない状況に、学力面と合わせ、緊急に取り組むべき課題と考えています。

また、前年度の町内小・中学生による人権作文で、中学生の『終戦によって学んだこと』と題した文中に「瘦せさらばえる」という文言がありました。「さらばえる」は立派な日本語であり、このような難しい語句を使いこなす生徒が育っていることに感心しました。学校はもちろん家庭での学習や読書の成果であろうと感じました。本年度も、学校・社会教育の両面から様々な事業を展開していきますので、温かくそして厳しい目で見守ってください。



○そえだドリームプロジェクト9年構想

義務教育期間9年間を通して「志」をキーワードに「夢や希望を持てるそえだの子ども」を育てるドリームプロジェクト。4年目となる今年度も引き続き、子どもたちの節目の年ごとに個別キーワードを設け、事業に取り組んでいきます。

○教育指導主事の配置

児童生徒の学力や体力向上を柱とした添田町独自の教育施策をより一層進めていくために、教育指導主事を配置します。学校との連携強化を図り、さまざまな課題への対応に取り組み、そえだの子どもたちの躍進に努めていきます。

○社会教育関係事業の推進

高齢化の進展や高度化する情報化社会の中で町民一人ひとりが、コミュニティの一員としての役割を果たし成長していけるような学習交流の機会を提供していきます。小中学生の家庭での読書活動の推進やシニア世代の生きがいづくり事業、スポーツ活動の推進、人権施策の推進などの施策を推進します。

☎ 添田町教育委員会 (82-5963、82-5964)



# イベント

## シャクナゲまつり

▼とき 4月16日(土)～5月1日(日) 9時～16時30分  
 (期間中の土日祝日は花公園内特設テントでイベントがあります)

▼ところ 英彦山花公園  
 ▼入園料 大人(高校生から)200円、小人(小学生から)100円  
 ▼イベント内容 地元特産品やしゃくなげ苗、ヤマメの塩焼き、シシ汁などの販売  
 ※内容は変更になることがあります。

園 英彦山花公園(☎85-0375)



## 上中元寺ヤマメ釣り大会

▼とき 4月24日(日) 6時30分～11時(受付6時)／雨天決行  
 ※事前予約不要。6時30分以降も随時受付。(表彰式11時30分)  
 ▼ところ 上中元寺公民館前、田中組集会所前

▼参加費 一般1千円、小学生以下500円(おにぎり・だんご汁付き)  
 ※ルアーの使用禁止。  
 ※釣り具の貸し出しはしていませんが、当日は釣り具屋が来場し、釣り道具やエサの販売をします。  
 園 上中元寺青年クラブ 猪熊(☎82-2703)

## 添田町めんべい工場春まつり

▼とき 4月16日(土) 9時～16時  
 ▼ところ 添田町めんべい工場  
 ▼内容 商品の特売、特産品の販売、抽選会、めんべいをトッピングしたアイスクリームも数量限定で試食できます  
 園 添田町めんべい工場(☎31-4040)

## 田川郡民登山会

▼とき 5月8日(日) 9時集合  
 ▼集合場所 平尾台入口吹上峠駐車場  
 ▼目的地 平尾台「貫山(ぬきさん、712メートル)」  
 ▼参加費 無料  
 ▼募集期限 4月21日(金)  
 ※小学生以下は保護者同伴で参加してください。  
 ※申し込み方法など、詳しくは

# 相談

## 身体障害者巡回相談

▼とき 5月31日(火) 10時～11時(受付9時30分)、13時～14時(受付12時30分)  
 ▼ところ 大任町役場多目的ホール／要予約  
 ▼内容 肢体不自由の補装具の支給・修理の要否判定や、その他身体障害に関わる相談  
 ▼予約期限 5月6日(金)

## 無料法律相談会

直方弁護士センター 移転記念として無料法律相談会が行われます。  
 ▼とき 4月24日(日) 10時～13時  
 ▼ところ 道の駅いとだ(糸田町)  
 ※相談時間は一人30分。  
 ※予約不可、先着順。



園 教育委員会社会教育課(☎82-5964)

## 「光と影に魅せられて」斜光線クラブ写真展2016

▼期間 5月4日(金)～9日(日) 4日(金)13時～17時、5日(土)8日(日)11時～17時、9日(日)11時～16時  
 ▼ところ ギャラリーこのはずく(別所駐車場前)／入場無料  
 園 珈琲館姫沙羅(☎85-0188) 写真クラブ「斜光線」加藤洋(☎090-9585-1671)

# 福祉・町バス

## 思いやりを行動に ヘルプカードできました

障がいのある人、認知症の人、妊娠している人などが困っているときに身につけるカードができました。  
 裏面に、手伝ってほしいことが書かれています。障がいや不自由は外見では気づかれないこと



園 福岡県弁護士会筑豊支部会(☎0948-28-7555)

# お知らせ

## 遠賀川環境保全活動団体 支援助成事業

遠賀川流域で、河川の水質の改善などを目的とした環境保全活動を行う住民団体などに対して、その活動費を助成します。  
 ▼対象団体 支流を含む遠賀川流域で活動を行っている、または今後行おうとする会員数5人以上の団体で、他からの助成を受けていない団体  
 ▼対象活動 除草・清掃活動、

もありません。ヘルプカードを見かけたら、ぜひ手助けをお願いします。ヘルプカードは、役場保健福祉環境課、県保健福祉事務所などで配布しています。福岡県のホームページからもダウンロードできます。  
 園 福岡県福祉労働部障害者福祉課社会参加係(☎092-643-3264)

## 町バス時刻が変わります

4月1日から町バスの時刻が一部変更となります。時刻表を確認の上利用してください。  
 ▼時刻が変更になる路線 彦山線、津野線、中元寺線  
 園 役場まちづくり課施設推進係(☎82-5965)



## 軽自動車税の減免申請をお忘れなく

身体障害などにより軽自動車税の減免措置を申請する人は、必要書類を次の期限までに住民課税務係へ提出してください。なお、障害の区分・級などによっては減免措置を受けられない場合があります。

▼助成対象活動期間 6月～平成29年1月  
 ▼助成内容 1団体あたり上限10万円  
 ▼申込期限 4月28日(金)  
 園 北九州市上下水道局水質試験所(☎093-641-5948)

## 田川県土整備事務所から お詫びとお知らせ

県道英彦山 添田線(添田町民会館付近)の道路工事が3月末完成予定でしたが、現場状況などにより工事が遅れたため、6月の完成となります。お詫び申し上げます。



園 役場道路整備課道路河川係(☎88-8777)

## ありがとうございました (敬称略)

○添田町社会福祉協議会へ  
 ▼香典返し ▼世取敏子(中津野) ▼友石洋子(上中元寺)  
 ▼代谷国夫(添田東) ▼故村滝タキヨ(添田中) ▼葛山豪晴(町四) ▼小林トセ(庄中)  
 ○特別養護老人ホームそえだへ  
 ▼慰問 ▼赤間徳夫(岩瀬)(平成28年3月14日現在)



# 人の動き

2月末日現在( )は前月比

- 人口 10,500人(-24人) ●出生 3人
- 男性 4,950人(-6人) ●死亡 15人
- 女性 5,550人(-18人) ●転入 20人
- 世帯数 4,846世帯(-8世帯) ●転出 32人

# 相談

- 心配ごと相談(そえだジョイ/10時～15時) 4月19日(火)、5月10日(火)
- 補聴器相談(役場ロビー) 4月8日(金)(15時～)/13日(火)(13時～)
- 無料法律相談会(福岡法務局田川支局/13時～16時) 4月12日(火)  
 ※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。  
 園 法テラス福岡(☎050-3383-5502)
- こころの健康相談(田川保健福祉事務所/予約制) 4月12日(火)(10時～)、28日(火)(14時～)  
 園 田川保健福祉事務所健康増進課(☎42-9307)

# 事件事故発生状況

2月の事件発生状況 ( )内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗	0(±0)	0(±0)
性犯罪	0(±0)	0(±0)
車上ねらい	0(±0)	0(±0)
空き巣・忍び込みなど	0(±0)	0(-3)
2月の事故発生状況 ( )内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	13(+2)	24(±0)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	5(±0)	11(+3)



昨年10月に実施した国勢調査へのご協力ありがとうございました。その速報値が総務省統計局から公表されましたので、お知らせします。

- 日本の総人口 1億2,711万47人
- 福岡県 人口 510万2,871人 世帯数 219万9,429世帯
- 添田町 人口 9,923人(10,909人) 世帯 4,029世帯(4,215世帯)

※( )は22年国勢調査。  
 園 役場まちづくり課(☎82-5965)

お客様をおもてなし出来るグルメに

# ジビエ肉を使った ご当地一品が誕生



新たな添田町のグルメを発掘し発信する「そえだご当地一品グランプリ」。今回のテーマ「煮込み料理」に19品がエントリーされ、審査が行われました。

オークホールで2月26日、「第2回そえだご当地一品グランプリ」あなたのアイデアが町の顔になる」が開催されました。添田産のにんじんや大根、ジビエ肉などの食材をふんだんに使った煮込み料理19品がテーブルにずらりと並び、出品者のPRのあと、寺西町長や各団体の代表者、料理人など11人による試食審査が行われました。どれも美味しく、見た目にも味にも工夫を凝らした料理に審査は難航。普及のしやすいことから、最優秀賞に、木戸貞子さんの「猪、鹿ミートボールの田舎風ポトフ」準優秀賞にふるさと食堂（藤田美代子代表）の「ふるさと食堂のおでん」が選ばれました。最優秀賞と準優秀賞の2品は、4月2日に行われた道の駅歓遊舎ひこさんリニューアルオープンで、来場者に振る舞われました。



ふるさと食堂のおでんを試食する寺西町長



あちこちからグツグツと良い音が聞こえてきます



各団体代表者による審査



山伏も愛した添田の味

最優秀賞 木戸貞子さん

## 「猪、鹿ミートボールの田舎風ポトフ」

シシ肉とシカ肉をミンチにし、豆腐をつなぎにして作ったミートボールと、野菜を煮込みました。好き嫌いが多く子どもから、固いものが食べられないお年寄りまで、誰でも美味しく食べられる一品です。



## 町長室

広報そえだ

▼新年度になりました。昨年10月の国勢調査の速報値が2月末に発表され、添田町はついに1万人を切ってしまいました。人口は9,923人で、減少率は田川郡内の町村で一番多い状況です。▼数字に表れているのは、なんといっても出生率の低さです。昨年の添田町人口ピジョンの資料から見ますと、自然増減では、死亡数177人に対し出生率55人と、マイナス122人となっています。▼社会増減では、転出者数362人に対し転入者数は280人と、これもマイナス82人で、一年間に204人の人が添田町からいなくなっています。この傾向は数年続いており、対応を行ってききましたが、増加に転じるのは並大抵ではありません。▼死亡数に関しては高齢者が多いというところもあるのかと思いますが、死因はがんや脳疾患など生活習慣病に起因するものも多く、これらの対策として生活習慣病予防の講演会を開いたり、ピロリ菌検査をいち早く検診時に取り入れたりと、元気倶楽部・若返り教室の推進で健康寿命を延ばすことに力を入れており、ここ数年は介護者の割合が郡内市町村では少ないという現状です。

間に産む子ども数の平均数を示しています。この年代の人口が、添田町は極端に少ないということにも要因があるのではと感じています。▼添田町就農実践塾を開校し、町内に約10人が移り住んでいます。若者定住住宅・添田ファミリー団地には、幼児を含め6世帯24人が転入してきました。また、誘致企業である「めんべい」の福太郎さんに女子ソフトボールチームが誕生。若い女性が13人転入してきました。これらの事業はこれからも計画的に行う予定で、今後も転入が見込まれます。▼転出に対しての意識調査では、転出のきっかけは、高齢のため子どもがいる町外へ行ったり、仕事の都合や他所に住宅を購入したりが多くなっています。UIJターンの相談、推進や町の安価な土地の提供や、町営住宅の建設等行っています。農林業も企業として考え、定年間近な年代の方々の定住を促すためシニア農業技術講習会を今年度行います。▼子育て・教育は定住の重要な要素です。環境整備は行わなければならないことには話になりませんが、多くの子どもが多くの人とふれあい学ぶ事が学力向上に繋がるものだと思います。ニワトリが先かタマゴが先かですが、今は若者定住を促進し、多くの子どもたちが増える事を施策の柱に据え対応していきます。▼添田町は、一定数の人口を保ち、お年寄りから若者・子どもまで、バランスの良い人口構成で、活力ある持続的な社会構築を目指していきます。今後ともご支援ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

町はついに1万人を切ってしまいました。人口は9,923人で、減少率は田川郡内の町村で一番多い状況です。▼数字に表れているのは、なんといっても出生率の低さです。昨年の添田町人口ピジョンの資料から見ますと、自然増減では、死亡数177人に対し出生率55人と、マイナス122人となっています。▼社会増減では、転出者数362人に対し転入者数は280人と、これもマイナス82人で、一年間に204人の人が添田町からいなくなっています。この傾向は数年続いており、対応を行ってききましたが、増加に転じるのは並大抵ではありません。▼死亡数に関しては高齢者が多いというところもあるのかと思いますが、死因はがんや脳疾患など生活習慣病に起因するものも多く、これらの対策として生活習慣病予防の講演会を開いたり、ピロリ菌検査をいち早く検診時に取り入れたりと、元気倶楽部・若返り教室の推進で健康寿命を延ばすことに力を入れており、ここ数年は介護者の割合が郡内市町村では少ないという現状です。▼出生に關しましては、特殊合計出生率は郡内でも一番低く、香春町の1.80に比べ1.53と0.27ポイント少ない状況です。特殊合計出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の

間に産む子ども数の平均数を示しています。この年代の人口が、添田町は極端に少ないということにも要因があるのではと感じています。▼添田町就農実践塾を開校し、町内に約10人が移り住んでいます。若者定住住宅・添田ファミリー団地には、幼児を含め6世帯24人が転入してきました。また、誘致企業である「めんべい」の福太郎さんに女子ソフトボールチームが誕生。若い女性が13人転入してきました。これらの事業はこれからも計画的に行う予定で、今後も転入が見込まれます。▼転出に対しての意識調査では、転出のきっかけは、高齢のため子どもがいる町外へ行ったり、仕事の都合や他所に住宅を購入したりが多くなっています。UIJターンの相談、推進や町の安価な土地の提供や、町営住宅の建設等行っています。農林業も企業として考え、定年間近な年代の方々の定住を促すためシニア農業技術講習会を今年度行います。▼子育て・教育は定住の重要な要素です。環境整備は行わなければならないことには話になりませんが、多くの子どもが多くの人とふれあい学ぶ事が学力向上に繋がるものだと思います。ニワトリが先かタマゴが先かですが、今は若者定住を促進し、多くの子どもたちが増える事を施策の柱に据え対応していきます。▼添田町は、一定数の人口を保ち、お年寄りから若者・子どもまで、バランスの良い人口構成で、活力ある持続的な社会構築を目指していきます。今後ともご支援ご鞭撻の程よろしく申し上げます。



発行/添田町 編集/まちづくり課  
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地  
☎ 0947-82-1231 FAX0947-82-2869  
ホームページ http://www.town.soeda.fukuoka.jp

印刷/丸五印刷株式会社  
※広報そえだは再生紙を使用しています